

# 「 感 謝 」

宇治電化学工業株式会社

執行役員 川 村 進 一 氏



労務管理者協議会のメンバーの皆様へ

あけましておめでとうございます。今年も当会の運営などご協力よろしくお願いいたします。昨年はコロナの影響も受け、何度も例会や情報交換会も中止を余儀なくされました。同じことの繰り返しは避けたいと思っています。現在、リモートでの例会や会議運営を平行して行っていく準備を進めています。試行錯誤しながらとなります。新しい例会の形を探っていきますので、ご協力よろしくお願いいたします。

さて、昨年3月、長きにわたり、労務管理者協議会の事務局として活躍していただきました谷脇敦美さんが、事務局を退任されました。協議会並びに幹事会では盛大に送別及び感謝の宴を予定しておりましたが、今般のコロナの影響もあり、流れてしまっています。二度ほど、開催予定を立てたにも関わらず、第一波、第二波の影響を受けた。ひっそりと忘年会のときにでもというかすかな願いも、それも第三波に飲み込まれてしまった。まだ諦めてはいないのですが、私の【雨男】ぶりに落胆した令和二年。

この場を借りて、谷脇敦美様への感謝を。

谷脇敦美さま、長い間大変お世話になりました。ありがとうございます。そしておつかれさまでした。こんな日がやってくるとは、気持ちの上では全く整理もできていない状況にあります。数年前、幹事長になり、前々から谷脇さんには退職になってその後はうんぬんとお話を伺ってはいました。頭ではわかっていたのですが、習慣というか気持ちというのは頑なです、谷脇さん=労務管理者協議会、と慣れ親しんだ心は、半年以上もたつのに、環境の変化に追いついていない状態。例会のときも何度か「谷脇さんいないんだ、、あっそうか」という状況で、平気で「谷脇さんは？」って言ってしまいそうな自分がある。もう頼ることができないという現実を突きつけられる寂しさと、冷酷に時はうつろい、それに追いつかな

い無常観を感じています。まだしばらくの間は「谷脇ロス」に陥ったままだろうと。

私は新入社員の頃、上司のかわりに経営者協会の分科会に代理で携わるようになり、最初に親しくしていただいたのが、谷脇さんでした。右も左もわからない中、いろいろとお気遣いいただきました。今になって新人にお気遣いいただき、いろいろとお声がけいただいていたとわかりますが、そのころは、なんかちよい怖いお姉さんだな、はちきんっていうのはこんな人のことなんだー、と失礼なことしか考えつかなかったことを思い出します。いっぽう谷脇さんも、そんな私の反応の悪く、やる気のなさそうな反応を見て、確か新人のはずなのに、体だけでなく、態度もでかい、めっちゃ失礼な奴が来たもんだー、と思われていたとのこと。それから30年近く、前述のような未熟な行動や態度をやさしく指導して頂いたり、思い至らぬところをフォローして頂いたりと経営者協会での活動については常に寄り添って頂きました。歩行ラリー事務局での活動で昼夜問わず事務局活動して、活動終わりの深夜にお酒を交えつつ、示唆に富んだお話を頂いたことは昨日のように思い出されます。その後労務管理者協議会や経営者協会での活動もその延長線上で、公私ともにお世話になりっぱなしでした。

にもかかわらず、集大成の出来上がりが、うだつの上がない雨男幹事長、(申し訳ないです)。ほんとうにお世話になりっぱなしで、「ありがとうございます」と「すみません」、この両方の気持ちでいっぱいとなっています。

懲りずにお送りする花道を企画していきますので、少々お待ちください。

私たち労務管理者協議会のメンバーは、谷脇さんの意思を受け継ぎ、労務管理者協議会を今後も発展させ、私たち自身成長していくことが、お礼でもあり、恩返しであると確信しております。高知にはなくてはならない団体にしていくことをお誓いするとともに、谷脇さんの今までのご労苦に感謝申し上げます。谷脇敦美さん、本当にありがとうございます。